

# 2019年度「創作ゼミナールⅡ」発表要約

2019年12月16日 作成

学籍番号：3117031 \_\_\_\_\_ 氏名：友利有也（緑川研究室） \_\_\_\_\_

テーマ名：「教員採用試験に向けて」 \_\_\_\_\_

1. 研究の目標（創作ゼミナールⅠでのテーマ発表時の目標との相違がある場合には、変更点と変更した理由も書いてください。）

問題の性質を理解し、解いた問題を文字や色を使い分かりやすい解答をつくり相手にも分かりやすく解説できるようになる。

2. 研究の概要（どのような問題意識で、どのような手法で、どのように研究を進めたか、目標のどこまで達成できたのかなど、研究の流れを簡潔にまとめてください。）

苦手な三角関数・指数関数・対数関数の分野を中心に振り返りや確認を行いながらより伝わりやすい解答用紙を作成することを心掛けた。

1. チャート式数学受験ⅠA+ⅡB、沖縄県教員採用試験過去問集から問題を探して、実際に解く。
2. LaTeX 打ち込み作業
  - ・見やすく分かりやすい解答にするように心がけた。
  - ・計算過程や使用した公式を明記した。

3. 作成したものを同じ部活の友達に見せて意見を聞いた。

3. 研究成果（研究で得られた成果を簡潔にまとめてください。）

- ・ 公式や曖昧だった所を学び直す良い機会にすることができた。
- ・ **LaTeX** を使い、グラフや表を使った、解答を作成できるようになった。
- ・ 数学を得意としていない人にもどうすれば伝わりやすいのかを知ることができた。

4. 結論（この研究で達成できたこと、達成できなかったこと、改良が必要なことなどを書いてください。）

- ・ 問題の打ち込み作業に思った以上の時間がかかり、予想していたほど進行しなかった。
- ・ グラフや計算過程をより詳しく丁寧に書くべきだった。
- ・ 一部の友達にしか聞いていないので、沢山の人の意見を聞いて作成することが出来なかった。
- ・ **LaTeX** の使い方を学び打ち込んで解答用紙を作成することができた。

5. 考察と展望（研究の過程や成果を振り返って、研究の進め方について考えたこと、今後の研究の可能性などをまとめてください。）

- ・ 解答作成と **LaTeX** を同時進行で行う。
- ・ 解答作成のイメージ通りにできなかったので引き続き **LaTeX** の勉強も行い、納得いくものを作っていきたい。

6. 参考文献（書籍、論文、Web データの出典などの情報を書いてください。）

チャート式受験数学 I A・II B 【数研出版】

沖縄県数学科過去問 シリーズ 6 【共同出版】

LaTeX コマンド集 [www.latex-cmd.com](http://www.latex-cmd.com)

7. 研究履歴（創作ゼミナール I を含めたこれまでの研究活動の各段階について、その履歴を書いてください。）

4～6 月 テーマ決め、LaTeX の学習

7～10 月 『チャート式受験数学 I・A II・B』を解く

11～12 月 沖縄県教員採用試験過去問を解く  
解答用紙作成